

## 住友理工、インドの国際鉄道部品展示会「12<sup>th</sup> IREE 2017」に出展

～高速鉄道事業分野で盛り上がるインドで鉄道車両用部品を紹介～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 社長：松井徹）は、インド・ニューデリーで10月11日（水）から開催される国際鉄道部品展示会「12<sup>th</sup> IREE 2017 (International Railway Equipment Exhibition)」に出展する親会社、住友電気工業株式会社（大阪府中央区）のブースに、鉄道車両用防振ゴムの製品ラインアップを出品します。



ブースイメージ



鉄道車両用防振ゴムはブース中央「for BOGIE」エリアに展示

一昨年末の日印首脳会談で、インドの高速鉄道事業において日本の新幹線方式の採用が合意されて以降、日印間で鉄道事業への注目が高まっています。当社もこの合意をビジネスチャンスと捉え、インドにおける拡販活動を加速させます。当社製品は、すでに同国内の地下鉄車両に採用されていますが、今回の展示会では、開業当初から日本のすべての新幹線に採用いただいていた鉄道車両防振ゴムのラインアップを改めて紹介し、インドの鉄道事業者および車両メーカーへのさらなる認知度向上を図ります。

### <開催概要>

展示会名	12 <sup>th</sup> IREE 2017 (International Railway Equipment Exhibition)
会期	10月11～13日
会場	Pragati Maidan
ブース No.	Hall 11, Booth 9 (Japan Pavilion)

## <展示品紹介>

### >> 鉄道車両用防振ゴム

鉄道車両用防振ゴムは、鉄道車両の台車部分に取り付けられ、路面からの振動を大幅に低減し、乗り心地の向上に貢献しています。

当社の高分子材料技術により生み出された特殊なゴム材料と設計技術により、繰り返しの振動や過酷な環境にも耐える高い耐久性を兼ね備えています。

本製品は新幹線をはじめとする国内の鉄道車両をはじめ、海外の高速鉄道にも数多く採用されています。



鉄道車両用防振ゴム

以上

---

#### --- 住友理工について ---

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制震音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、エレクトロニクス、インフラ、住環境・健康介護の各分野でも事業を展開しています。23ヶ国106拠点に広がるグローバルネットワークを活用して、世界中の人々に安全・安心・快適を提供する“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

---

リリースに関するお問い合わせ先  
**住友理工株式会社**

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋

tel 052-571-0259 e-mail [kouhou@jp.sumitomoriko.com](mailto:kouhou@jp.sumitomoriko.com) <http://www.sumitomoriko.co.jp/>